

# はぐくみ通信

日本赤十字社医療センター周産母子センター vol.26

寒さが少し和らぐ季節となりました。

今回のはぐくみ通信では、2018年4月に改訂された『母乳育児がうまくいくための10ステップ』についてお伝えしたいと思います。

## 1. 母乳育児がうまくいくための10ステップとは…

WHO/ユニセフが、誰もが無理せずに「自分なりの母乳育児が出来る」環境を作るステップをまとめたものです。

その方法は、科学的根拠に基づき、商業的利益を排除した栄養法に関する情報を、母親に提供し、全ての母親が自分の子どもの栄養法を決定する権利を尊重することです。

また、「母乳育児がすべての子どもの健康への権利である」という考え方に基づいています。



## 2. 改訂のポイント

今回の改訂による大きな変化はステップ1が詳細に示されたことです。

包括的で科学的根拠に基づいた乳児栄養方針と、関連する臨床実践の順守に関する継続的な内部モニタリングが組み込まれました。

また、ステップ8では、「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準と、それに関連する世界保健総会決議（国際規準）」が、今まで以上に具体的に取り入れられました。

### 母乳育児がうまくいくための10のステップ

「母乳育児成功のための10カ条」2018年改訂版

WHO/UNICEF: The Ten Steps to Successful Breastfeeding, 2018

2018年4月に改訂されました。詳しくは2ページ目のポスターをご覧ください！

#### 施設として必須の要件

- 1a. 完全に順守する。
- 1b. 乳児栄養の方針を文書にしスタッフと親にもれなく伝える。
- 1c. 継続したモニタリングとデータ管理システムを確立する。
2. スタッフが母乳育児を支援するための十分な知識、能力、スキルを持つようにする。

#### 臨床における必須の実践

3. 母乳育児の重要性とその方法について、妊娠中の女性およびその家族と話し合う。
4. 出産直後からのさげざられることのない肌と肌との触れ合い(早期母子接触)ができるように、出産後できるだけ早く母乳育児を開始できるように母親を支援する。
5. 母親が母乳育児を開始し、継続できるように、また、よくある困難に対処できるように支援する。

6. 医学的に適応のある場合を除いて、母乳で育てられている新生児に母乳以外の飲食物を与えない。

7. 母親と赤ちゃんがそのまま一緒にいられるよう、24時間母子同室を実践する。
8. 「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」と世界保健総会の関連決議を赤ちゃんの欲しがらるサインを認識しそれに応えるよう、母親を支援する。
9. 哺乳びん、人工乳首、おしゃぶりの使用とリスクについて、母親と十分話し合う。
10. 親と赤ちゃんが継続的な支援とケアをタイムリーに受けられるよう、退院時に調整する。

# 母乳育児が うまくいくための 10のステップ

## ① 病院の方針

病院は母親の母乳育児を支援するために



母乳用調整乳、  
哺乳びん、  
人工乳首の  
販売促進を  
しない

母乳育児支援を  
標準の実践とする

母乳育児支援の  
経過を記録する

## ② スタッフの臨床能力

病院は母親の母乳育児を支援するために

スタッフに対し、  
母親の母乳育児を  
支援するための  
トレーニングを行う

保健医療従事者の  
知識とスキルの  
アセスメントを行う



## ③ 産前のケア

病院は母親の母乳育児を支援するために



赤ちゃんを  
母親にとっての  
母乳育児の  
重要性を  
話し合う

赤ちゃんに  
どのように  
授乳するのかを  
女性に  
あらかじめ  
伝える

## ④ 出産直後のケア

病院は母親の母乳育児を支援するために

出産後早期に  
母親と赤ちゃんの  
肌と肌の  
ふれあいを促す

母親が産後  
すぐ赤ちゃんを  
胸に抱けるように  
援助する



## ⑤ 母乳育児ができるように 母親を支援すること

病院は母親の母乳育児を支援するために



授乳姿勢、吸着、  
吸嚙(抱き方、  
吸いつき方、吸い方)を  
確認する

実質的な  
母乳育児支援を行う

よくある  
母乳育児の問題に  
母親が対処できるよう  
援助する

## ⑥ 補足

病院は母親の母乳育児を支援するために



医学的理由がある  
場合を除き、  
母乳だけを与える

補足が必要な  
場合は、まずは  
ドナー母乳を  
与える

人工栄養を望む  
母親に対しては  
安全にできるように  
援助する

## ⑦ 母子同室

病院は母親の母乳育児を支援するために

母親と赤ちゃんが  
昼夜一緒に  
過ごせるようにする



病気の赤ちゃんの母親も  
赤ちゃんの近くに  
いられるようにする



## ⑧ 赤ちゃんのサインに応える授乳

病院は母親の母乳育児を支援するために



母親が、赤ちゃんの  
空腹のサインが  
わかるように  
援助する

授乳の回数や時間を  
制限しない

## ⑨ 哺乳びん、人工乳首、おしゃぶり

病院は母親の母乳育児を支援するために



哺乳びん、  
人工乳首、  
おしゃぶりの  
使用や  
そのリスク  
について、  
母親と話し合う

## ⑩ 退院

病院は母親の母乳育児を支援するために



母乳育児支援の  
ための  
地域のリソースを  
母親に紹介する

地域・共同体と  
協働し、  
母乳育児支援の  
ためのサービス  
を改善する

出版元の許可を得て以下のWHOのサイトより翻訳

Infographics: Baby-friendly hospital initiative: the TEN STEPS to successful breastfeeding. Ten steps poster. Geneva, World Health Organization, 2018  
(<http://www.who.int/nutrition/bfhi/infographics/en/>, 2018年9月25日アクセス)



日本赤十字社医療センターは、赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital) として、このような考え方にに基づき全ての母子の支援に取り組んでいます。